社会・国会を中心とする民主政治の仕組み考察ワーク

生徒用｜架空事例12問｜制度・立場・合意形成を考える

対象	東京都立高校共通問題を受検する中学3年生
単元	公民・民主政治・国会
問題構成	基礎4問・標準4問・本番形式4問
対象点数	社会50〜80点
難易度	基礎〜標準
目標時間	45分
公式確認日	2026-09-03

教材の目的

需要調査90点の当日引継ぎを踏まえ、国会の地位と仕事、二院制、議院内閣制を整理し、架空の審議事例から対立と合意、効率と公正、民主主義の観点で判断・表現する力を身に付ける。

都立入試の社会・資料問題の特徴

東京都教育委員会の令和8年学力検査結果調査は、国会を中心とする民主政治の仕組みについて、対立と合意、効率と公正、民主主義など複数の観点から考察する学習の充実を示している。本教材は制度の暗記だけでなく、資料上の立場や手続を根拠として短く説明する独自問題で練習する。

資料読み取りの基本手順

・まず、国会・内閣・裁判所のどの機関に関する資料かを確認する。

・制度上の決まりと、教材用に設定した架空の人数・意見を分けて読む。

・対立する意見では、共通の目的と異なる優先事項を一つずつ整理する。

・多数決だけで結論を急がず、審議、少数意見、修正案、説明責任も確認する。

・効率と公正の両方から、誰にどのような影響があるかを考える。

・記述は資料中の根拠と社会科知識を結び、資料から言えない因果を断定しない。

資料形式ごとの見方

・表：提案、賛否、対象、費用など、行と列の条件をそろえて比べる。

・文章資料：制度上の決まりと、架空事例の主張・理由を区別する。

・会話文：発言者ごとの立場、共通点、対立点、合意できる条件を整理する。

・複数資料：制度の原則を事例に当てはめ、数値だけでなく手続の公正さも確認する。

都立入試ナビ

練習問題

基礎問題

問題 1

分野：公民・国会の地位｜資料形式：表

資料1 三つの機関と主な働き（表）

単位：機関｜期間：日本国憲法施行下｜対象地域：日本｜教材用の架空資料

機関	主な働き
国会	法律を定める
内閣	法律を実施する
裁判所	争いを法に基づいて判断する

資料1で法律を定める機関を答え、その機関が国の唯一の何機関と定められているか書きなさい。

解答：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

問題 2

分野：公民・二院制｜資料形式：文章資料

資料1 国会の構成メモ（文章資料）

単位：議院｜期間：日本国憲法施行下｜対象地域：日本｜教材用の架空資料

国会は二つの議院で構成される。

どちらの議院の議員も、全国民を代表する選挙された議員である。

国会を構成する二つの議院名と、この仕組みの名称を答えなさい。

解答：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

問題 3

分野：公民・国会の仕事｜資料形式：表

資料1 国会で扱う三つの案件（表）

単位：案件｜期間：ある国会の学習用整理｜対象地域：日本｜教材用の架空資料

案件	内容
A	法律案を審議し議決する
B	内閣が作成して提出した予算を審議し議決する

都立入試ナビ

案件	内容
C	国会議員の中から内閣総理大臣を指名する

内閣が作成して国会に提出するものを扱う案件を記号で答えなさい。

選択肢

・A

・B

・C

解答：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

問題 4

分野：公民・議院内閣制｜資料形式：文章資料

資料1 国会と内閣の関係（文章資料）

単位：なし｜期間：日本国憲法施行下｜対象地域：日本｜教材用の架空資料

国会は、国会議員の中から内閣総理大臣を指名する。

内閣は、行政権の行使について国会に対し連帯して責任を負う。

資料1に示された国会と内閣の関係を表す仕組みを答えなさい。

選択肢

・議院内閣制

・直接民主制

・地方自治

・司法権の独立

解答：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

標準問題

問題 5

分野：公民・多数決と少数意見｜資料形式：表・会話文

資料1 架空の委員会における修正案の賛否（表）

単位：人｜期間：第1回採決｜対象地域：架空の国会委員会｜教材用の架空資料

賛否	人数
賛成	11
反対	9

都立入試ナビ

資料2 採決後の話合い（会話文）

単位：なし｜期間：第1回採決後｜対象地域：架空の国会委員会｜教材用の架空資料

委員A：賛成が多いので、すぐ本会議へ進めたい。

委員B：反対意見には利用しにくい人への配慮が不足するという指摘がある。

委員C：目的は保ち、配慮条項を加える修正を検討しよう。

第1回採決の賛否の差を求め、委員Cの提案が民主的な話合いに役立つ理由を40字以内で説明しなさい。

解答：＿＿

＿＿

＿＿

問題 6

分野：公民・二院制の意義｜資料形式：会話文

資料1 法案審議についての生徒会議（会話文）

単位：なし｜期間：学習活動時｜対象地域：架空の学校｜教材用の架空資料

生徒A：一つの議院だけなら、決定は速くなりそうだ。

生徒B：二つの議院で審議すれば、異なる観点から見直す機会が増える。

生徒C：速さだけでなく、慎重さや多様な意見も大切だ。

二院制について、生徒Aが重視する観点と、生徒B・Cが重視する観点をそれぞれ答えなさい。

解答：＿＿

＿＿

＿＿

問題 7

分野：公民・法案審議｜資料形式：表

資料1 架空法案の審議記録（表）

単位：意見・か所｜期間：委員会審査から本会議まで｜対象地域：架空の国会｜教材用の架空資料

段階	内容
委員会	専門家3人と利用者4人から意見を聴取
修正	意見をもとに2か所を変更
本会議	修正案を討論して採決

委員会が合計何人から意見を聴いたか求め、委員会審査が公正な決定に役立つ理由を45字以内で説明しなさい。

解答：＿＿

都立入試ナビ

_____

_____

問題 8

分野：公民・政党と合意形成｜資料形式：会話文・表

資料1 架空の政策協議（会話文）

単位：なし｜期間：法案提出前｜対象地域：架空の国会｜教材用の架空資料

会派X：支援を早く始めることを優先したい。

会派Y：対象となる人の基準を明確にしたい。

会派Z：半年後に効果を検証する条件を加えたい。

資料2 協議後の共同修正案（表）

単位：条件｜期間：協議後｜対象地域：架空の国会｜教材用の架空資料

項目	内容
開始	成立後すみやかに開始
対象	公開された基準で判定
検証	半年後に効果を検証

共同修正案が三つの立場をどのように反映したか、50字以内で説明しなさい。

解答：_____

_____

_____

_____

本番形式問題

問題 9

分野：公民・予算と効率・公正｜資料形式：表・会話文

資料1 架空の支援事業案（表）

単位：億円・万人｜期間：次年度予算案｜対象地域：架空の国｜教材用の架空資料

案	費用	利用見込み	特徴
A	12億円	24万人	全国一律のオンライン支援
B	15億円	18万人	窓口とオンラインを併用
C	9億円	12万人	窓口のみ

都立入試ナビ

資料2 予算委員会の意見（会話文）

単位：なし｜期間：審議時｜対象地域：架空の国会｜教材用の架空資料

議員P：同じ費用なら多くの人が利用できる案を重視したい。

議員Q：オンラインを使いにくい人も利用できることが必要だ。

議員R：利用状況を公開し、翌年度に見直す条件を付けよう。

案Aの1億円当たり利用見込みを求めた上で、効率と公正の両方を考えた修正案を60字以内で提案しなさい。

解答：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

問題 10

分野：公民・両院の議決｜資料形式：表・文章資料

資料1 架空の法律案に対する両院の議決（表）

単位：票｜期間：同一会期｜対象地域：架空の国会審議｜教材用の架空資料

議院	賛成	反対
衆議院	310	150
参議院	110	120

資料2 法律案についての基本ルール（文章資料）

単位：なし｜期間：日本国憲法施行下｜対象地域：日本｜教材用の架空資料

法律案は、憲法に特別の定めがある場合を除き、両議院で可決したとき法律となる。

両議院の議決が異なる場合には、憲法の定める手続がある。

両院それぞれの賛否差を求め、この資料だけで法律成立と断定できない理由を50字以内で説明しなさい。

解答：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

問題 11

分野：公民・審議と説明責任｜資料形式：表・会話文

資料1 架空委員会の審議改善前後（表）

単位：時間・件｜期間：第1回審議・第2回審議｜対象地域：架空の国会委員会｜教材用の架空資料

都立入試ナビ

項目	第1回	第2回
審議時間	4時間	7時間
公開資料	3件	8件
意見聴取	2件	6件

資料2 改善後の意見（会話文）

単位：なし｜期間：第2回審議後｜対象地域：架空の国会委員会｜教材用の架空資料

委員A：審議に時間がかかった。

委員B：判断に使った資料と意見を国民が確認しやすくなった。

委員C：次回は論点を先に整理して時間も抑えたい。

公開資料の増加数を求め、第2回審議の長所と改善点を55字以内で説明しなさい。

解答：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

問題 12

分野：公民・議会制民主主義｜資料形式：表・会話文・文章資料

資料1 架空の政策案への市民意見（表）

単位：人｜期間：意見募集期間｜対象地域：架空の国｜教材用の架空資料

立場	人数	主な理由
賛成	420	早い実施を望む
修正を求める	360	対象基準の見直しを望む
反対	220	費用の説明不足を指摘

資料2 架空の国会審議（会話文）

単位：なし｜期間：意見募集後｜対象地域：架空の国会｜教材用の架空資料

議員A：最も人数の多い賛成意見を尊重しよう。

議員B：修正や反対の理由も審議し、基準と費用を説明しよう。

議員C：修正後の案と理由を公開し、次の選挙でも評価できるようにしよう。

資料3 代表を通じた政治参加（文章資料）

単位：なし｜期間：議会制民主主義の学習用整理｜対象地域：日本｜教材用の架空資料

国民は選挙で代表者を選び、代表者は議会で政策を審議する。

都立入試ナビ

国民は選挙以外にも意見を示し、政治の過程を見守ることができる。

意見の合計人数を求め、議会制民主主義をよりよく運営するために必要なことを70字以内で説明しなさい。

解答：＿＿

＿＿

＿＿

＿＿

＿＿

見直しチェック

・国会、内閣、裁判所の役割を取り違えていない。

・衆議院と参議院から成る二院制を確認した。

・制度上の決まりと架空事例を区別した。

・多数意見と少数意見の両方を資料から確認した。

・効率だけ、公正だけの一方に偏らず影響を見直した。

・記述に資料中の根拠、社会科知識、指定された観点を含めた。

振り返り欄

間違えた問題番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

原因（タイトル・単位・期間・地域・計算・知識・記述）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

次に解き直す日：＿＿＿年＿＿月＿＿日

公式情報確認日：2026-09-03 自己確認日：＿＿＿年＿＿月＿＿日

都立入試ナビ
都立入試ナビ
都立入試ナビ